

仏像の なかに 仏像？

内部空間に小仏像をおさめる仏像について

講師 佐々木 守俊
清泉女子大学教授

仏像の内部空間には「胎内仏」と呼ばれる小さな仏像が納入されていることがあり、最近では研究の進歩によって多くの事例があらたに知られるようになりました。胎内仏をおさめる仏像はしばしば「鞆仏」（さやぼとけ）と呼ばれます。文字史料や寺院の縁起などからは、古い由緒をもつ霊験あらたかな胎内仏を守るために鞆仏が造られた事実があきらかになっています。しかし、仏像のなかに仏像を納入する目的は、古い像を新しい像で守ることだけではなかったようです。なぜ仏像のなかに仏像が必要とされたのでしょうか？ この謎を解くため、本講座ではおもに平安～鎌倉時代のさまざまな作例や史料を見ながら、内外二重構造をとる仏像の意味をさぐってゆきます。

【日時】 12月9日(土) 13:30～15:00 【場所】 清泉女子大学（五反田駅から徒歩10分）

【受講料】 一般：1,500円／アカデミア会員・泉会・麗泉会・発展協力会：1,000円
包括協定締結校在学学生：500円／本学在学学生：無料（発展協力会の支援による）

【受講方式】 対面講座ですがオンライン視聴可（後日配信はありません。オンライン希望の方はWEBよりお申し出ください）

【申込方法】 下記いずれかの方法でお申し込みください。（QRコードはWEB申込フォームにアクセスします）

- ① Web：清泉女子大学公式Webサイト「生涯学習講座」より「WEB申込フォーム」をご利用ください。
- ② 電話：03-3447-5551（代）平日9:00～17:00
「清泉ラファエラ・アカデミア一日講座申込」とお申し出ください。
- ③ 一日講座専用申込書（窓口提出またはFAX：03-5421-3212）

【問合せ先】 清泉女子大学 生涯学習センター 03-3447-5551（代）平日9:00～17:00

※今後の感染状況等により、変更や中止となる場合もございます。最新情報は公式Webサイトに掲載しています。

